

TCP タイムスタンプオプションに関する脆弱性について

1. 脆弱性の概要

RFC1323 に規定されている TCP Timestamp Option を使用し、IP アドレスおよびポート番号を偽装した TCP パケットを第三者が送りつけることにより PAWS(Protection Against Wrapped Sequence)機能を実装した TCP のコネクションが終了するサービス運用妨害(Denial of Service)攻撃の可能性が報告されています(JPCERT/CC REPORT 2005-05-25)。

2. 参考情報

(1) JP Vendor Status Notes JNVNU#637934

TCP の実装に不正な値で内部タイマを更新する脆弱性

<http://jvn.jp/cert/JNVNU%23637934/>

(2) US-CERT Vulnerability Note VU#637934

3. 当社製品への影響

当社製品の本脆弱性に関する影響は下記の通りです。

製品名	OS 名称	影響
Apresia [®] 8000 シリーズ	ApWare	本脆弱性に該当しません
Apresia [®] 6000 シリーズ	ApbWare	
Apresia [®] 4000 シリーズ	AEOS [®]	
Apresia [®] 3000 シリーズ	AEOS [®] , HSWWare Ver3,5	
Apresia [®] 2000 シリーズ	AEOS [®] , HSWWare Ver2,4	
GMX シリーズ	GMX-Ware1 GMX-Ware3 GMX-Ware4	
HSW シリーズ	HSWWare Ver2 HSWWare Ver3	

以上